

私のすすめるこの1冊

清村 百合子 (音楽科 教授)

『和紙作家 堀木エリ子の生きる力』

堀木エリ子 (著)

京都に通学しているみなさんであれば、一度は目にしたことがあるかもしれません、「キャンパスプラザ京都」「京都駅ビル The CUBE 11階グルメ街」「CLUB HARIE 京都高島屋店」……。これらの建物や空間に共通するものは一体、何だと思いませんか？実はここに挙げた建物、空間にはすべて「大型和紙による建築空間における和紙造形」が施されています。クラブハリエの店構えは、市松模様とバウムクーヘンの年輪の組み合わせからなるデザインで、和紙の質感と光の透過性を駆使した、とても印象的な空間になっています。

これらの建築空間に使われている和紙をデザイン・制作したのが、今回、紹介する堀木エリ子氏です。本書は「建築空間に大型和紙を施す」という、これまでの常識を覆した堀木エリ子氏の、生きる探究過程そのものを綴った本です。

堀木氏は、和紙工芸一家に生まれ育ったわけでもなく、高校卒業後すぐに銀行に就職し、ある出会いがきっかけで手すき和紙会社へ転職し、和紙産業の世界へ入っていきます。その後、自身の会社を立ち上げた堀木氏はこれまで祝儀袋やラッピングぐらいにしか使われていなかった和紙をインテリアや建築に使うことを思いつきます。

堀木氏の偉業は「異素材とのコラボレーション」「できる前提で物事を考える」この二点に尽きるでしょう。キャンパスプラザの壁面はガラスとガラスの間に和紙を挟んだ「合わせガラス」という技術を使っています。ガラスと和紙という異素材を組み合わせることで、水や雨風にも強く、かつ和紙の質感を損なわない都市環境でも役立つ和紙

を開発しました。

「できる前提で物事を考える」というフレーズは何度も本書に出てきます。制作はクライアントの要望から始まりますが、その過程で常に問題に直面します。ここで堀木氏はできない理由をまず捨てて「ああすればできるのでは」とできる前提で話を進めます。例えば成田国際空港のオブジェでは「不燃」という消防法の規制をクリアするため、不燃処理をした和紙をガラスに貼り込むなどあらゆる問題解決の果てに2年後ようやく認可が下りたといいます。

実は私自身も堀木氏の「できる前提」思考に恩恵を受けたひとりです。数年前、学会のセミナーで堀木氏をお呼びしたのですが、「講義室という限られたスペースで紙すきのワークショップをしてほしい」というこちらの無理難題にも関わらず、試行錯誤の末、プラスチック容器を使って机の上で簡単にできる紙すきキットを開発してくださり、当日ワークショップも大成功しました。このときまさに「できる前提で物事を考える」を目の当たりにしたのです。

無理難題、前代未聞であったとしても、目的（クライアントの要望）があればまずはやってみる。やってみる中で新しい技法が見つかったり、それによって技術が進歩したりする。とてもシンプルなことですが、これこそが探究の道筋そのものではないでしょうか。何か自分にチャンスが舞い込んできたとき、できない理由をまず捨てて「どうすればできるか」から思考をはじめてみてはどうでしょう。そうすれば、堀木氏のようにこれまで見えなかった新しい世界が見えてくるかもしれません。

ブックハンティング 2022 開催報告

ブックハンティングは、書店に並んでいる本の中から学生の皆さんが「図書館に置いてほしい」と思う本を選ぶ企画です。2022年は前期に店頭での選書を2回、後期に店頭選書1回とWeb選書を併せて行い、計15名の方に168冊の本を選んでもらいました。後期に選ばれた本は推薦文と併せて館内で展示していますので、ぜひご覧ください！

【場所】1階渡り廊下

【期間】2月1日(水)～4月28日(金)

《参加した感想や、推薦文などをいくつかご紹介します》

【参加した感想】

「本が大好きなので大学生のうちに選書に携われたのはとてもうれしかったし、貴重な経験になった。次回もあれば参加したい。」

「2万円を超えるだけ本を買うことは自分には難しいので、こんなにも自由に読みたい本を選ぶ時間はとても楽しかった。今回選んだ本を借りて読むのが楽しみだ。」

貸出できます

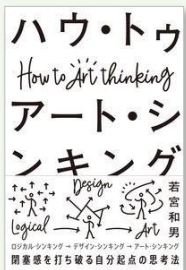


「私が読みたい本かつ他の人もきっと読みたいだろう、と思ってもらえるような本を選ぶのはとても難しいと思いました。今回はWeb選書での参加だったので、インターネットの口コミ等を参考に、教育関係の本を多めに選書しました。来年度はぜひ書店に行つての選書してみたいです。」

「自分がほしい・読みたい本が大学になかったのが、今回購入できてよかった。選書も楽しかった。」

【推薦文】

①本のタイトル ②この本を選んだ理由 ③読んでみた感想やおすすめポイント



- ① ハウ・トゥ アート・シンキング 閉塞感を打ち破る自分起点の思考法
- ② アート思考に関する文献を探していて、概観や性質・起源・他の思考概念の違いについて詳しく書いてありそうだと感じたから。
- ③ アーティストが作品を0から作り出す時を做った思考法—アート思考から、アートや美術の領域でどのようなことが起こっているのか考えられる一冊です。変わり続ける社会の中で、他者とは違う自分だけのアイデアをもつことの意義について考えることができます。美術は苦手…という人にこそ手に取ってみたいですね。



- ① こうして社員はやる気を失っていく リーダーのための「人が自ら動く組織心理」
- ② 社員を子どもと置き換えることで、教員としての力をつけるのに、役に立ちそうだったら。
- ③ 教員になったときに役に立つだけでなく、自分のやる気が下がったときの理由が分かったり、先輩、後輩関係などにも役に立ったりするので、本当にためになると思います。おすすめポイントは、やる気を失うことの実例が挙げられているところで、実際の事象に当てはめやすいところです。

◆ リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！リクエストや投票にどんどん参加してください！

【投票期間】2月1日(水)～3月15日(水)

※結果によっては購入できないこともあります。
※学習研究目的のものは原則として購入していません。



京都教育大学
それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。

2022年度の報告

京都教育大学 YouTube kyokyochannel で公開されています(現在も視聴できますのでどうぞ!)

【講師】第31回:清村百合子(音楽科)、第32回:荻野雄(社会科学科)、第33回:赤松大輔(教育学科)、第34回:谷口和成(理学科)、第35回:岡田雄樹(体育学科)

※今までの回も視聴できますので、ぜひご覧ください!

主催:「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会
後援:京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館



学修相談カウンター

院生がいろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか? 来年度も実施予定です!

詳しくは HP 等でご確認ください→



春季休業に伴う長期貸出について

学部生:1月30日(月)~4月4日(火)
院生・教職員:1月16日(月)~3月20日(火)
【返却期限日】4月19日(水)



卒業・修了予定の方へ

1. 貸出期間の延長

卒業・修了予定の方の貸出は3月10日(金)までとなっています。それ以降も貸出を希望される場合は、所定の手続きを行うことにより、3月24日(金)まで延長できます。カウンターでお尋ねください。

2. 卒業後の図書館利用について

卒業生利用者としてご利用いただけます。利用証の申請書は卒業式(修了式)で配布し、当日から利用証を発行できますので、ご希望の方はお申込みください。なお、卒業後は本学の学生と利用条件が一部異なりますのでご注意ください。

※3月末に卒業・修了しない方で、貸出中の図書の返却期限日が3月10日(金)の場合は、4月19日(水)に変更されます。図書館への申出は不要です。

ご退職・ご転出予定の方へ

本学教職員の方の利用証は在籍期間に限り有効です。ご退職・ご転出予定の方は在籍期間中に本をご返却ください。なお、今後も一般利用者として附属図書館をご利用いただけます。ご希望の方は申請してください。

企画展示室(北館1階)

<告知>Assets 展(美術領域専攻)

【会期】3月17日(金)~4月14日(金)

<報告>第13回京都教育大学附属学校園こども美術作品展
2月1日(水)から8日(水)まで開催されました。



好評開催中!

第10回 京都・大学ミュージアム連携 スタンプラリー
2023年3月25日(土)まで
※本学は連携参加大学です。

児童書コーナー(南館1階)



今月の絵本カード(学生作)
『あしたのぼくは...』
作・絵:宮西 達也
出版社:ポプラ社



※児童書コーナーに
かわいいカードが
飾られていますの
で、ぜひ見に来てく
ださい。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【3月の開館日時】

・6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)、14:00~17:00
・24日(金)9:30~12:30 ※卒業式

今月の逸品(2・3月)
『SZK 水素イオン(PH)比色計』
展示場所:附属図書館



教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **森脇 正博** (京都教育大学附属京都小中学校 教諭)

教員による「性犯罪・性暴力等」の類型的研究—学校種に則した事案の検討—

森脇 正博・榊原 禎宏

京都教育大学紀要 2022, No. 141, pp. 107-116
URI: <http://hdl.handle.net/20.500.12176/9767>

読者の皆さん。「教員のわいせつ行為は、社会全体のそれと比べ、多いと思いますか、少ないと思いますか。また、そう思った理由は何ですか」と問われると、どう答えますか。「教師という職業柄、たくさん報道されているだけで、実際は少ないはず!」と、考えられた方が多いのではないのでしょうか。

この点に関しては、精神的健康のバロメータの一つである逸脱行動のうち、性的逸脱を取り上げ、教員による法的意味での「わいせつ行為(現在は性犯罪・性暴力等)」が社会全体のそれより多く生じているか否か、また学校種間の発生率に違いがあるかを、十数年間の傾向として、拙論(森脇正博・榊原禎宏「教員の「わいせつ行為」に関する統計的再分析—学校種間の発生率の検討—」『京都教育大学紀要』132、2018、77-89頁)にて、すでに明らかにしています。本稿と合わせ、ご高覧いただけますと幸いです。

さて、本題に移りましょう。本報告では、発件数や率という数値だけでなく、より事案の具体像を描き出すために、官報での教員免許失効公告、都道府県・政令指定都市または同教育委員会による県政ニュース等の記者発表、朝日・読売新聞ほか全国紙、および地方紙での報道等を渉猟して、複数の根拠を見出した場合のみを事案としてカウントする方法を用い、文科省「わいせつ行為等に係る懲戒処分等の状況」

(2019年度)に示される小・中・高校教員の同懲戒処分の、およそ85%の事案を特定しました。このことにより、当該教員が所属する学校種別の特徴的な傾向を見出すことができました。すなわち、学校種別に、行為の対象が誰だったのか、どこで(場所)どんな行為(態様)があったのか、SNS絡みなのか、はたまた部活や個別指導といった環境因子が関係しているのか等、それぞれのつながりを、樹形図のように線で結び合わせることで、教員による「性犯罪・性暴力等」の類型を「見える化」することに成功しました。

この結果を踏まえれば、教員の同行為等を平準的に理解するのは不的確であり、また事案は行為者の主体性によってのみならず、学校内外の環境を通じて生じていることを推論できます。つまり、本稿での知見から、教員による性犯罪・性暴力等を減少させていくには、学校種別や個々の学校環境の状況を踏まえた、個別のリスクマネジメントの重要性が示唆されるのです。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 141号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館

| 2023年3月 | | | | | | |
|---------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |

3/1 館内整理日
3/12 学部後期入試
3/24 卒業式

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

| 2023年4月 | | | | | | |
|---------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | | | | | | |

4/7 入学式
4/12 前期授業開始

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>

(QRコード→)



京教図書館 News No.270 (2023年3月号)

発行日:2023年3月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先: library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION